



H 第109号 ふれあいの里

〒632-0001 天理市中之庄町470 TEL.0743-65-1771(代)

発行責任者：鉄村 信治

編 集：ふれあいの里広報委員会

CONTENTS

1頁・新年のご挨拶

2頁・RUN伴に参加しました

・西2階病棟 大相撲大会 & 日替わりお風呂

3頁・第2回 二階堂高校インターンシップ

・第9回 ふれあいの里 秋の作品展が
11月1日から開催されました。

4頁・デイサービスセンターいすみ

リニューアルオープン

<http://www.fureai-net.com/>



新年、あけまして
おめでとうございます。

社会福祉法人大和清寿会 理事長 鉄村 俊夫

昨年を振り返りますと、4月に介護保険制度の改正と介護報酬の改定が行われ、利用者の皆様にとっても、また我々介護サービス事業者にとっても非常に厳しいものとなりました。軽度の要介護者の切り捨てともとれる内容や自己負担の増加、介護保険制度が導入された2000年以降初めてのマイナス改定となった事等です。また「地域包括ケアシステム（高齢者ができる限り住み慣れた地域で尊厳を持って自分らしい生活を送るための仕組み）」の構築に向けて、在宅復帰率の評価など具体的な取り組みをさらに加速させていった事も今回の改定の大きな特徴と言えます。団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題を見据えた地域包括ケアシステムの推進は、「自助」「互助」「共助」「公助」からなる医療・介護の国民皆保険制度を維持するため、社会保障費の抑制を目的としていることも事実です。「自分のことは自分で（自助）」を基本に、地域社会で助け合うことにより医療・介護保険の財源の確保をしていくということです。そのために、天理市委託事業として大和清寿会が運営する「天理市北部地域包括支援センター」では、独自の取り組みとして、独居高齢者宅へ「セコム」の見守り・安否確認システムの導入、警察の協力の下での高齢者世帯へ迷惑電話（振り込め詐欺等）防止システムの導入、さらには地域の高齢者が気軽に集える場所としての「サロン」の実施等、地域社会に貢献できるよう、できることから少しづつ取り組んでいるところであります。

一方、少子化や景気回復による介護人材不足は深刻で、大手介護事業所での虐待による死亡事件という残念な報道

もあり心を痛めると共に、我々も気を引き締め、さらなるサービスの質の向上に努めてまいりたいと思います。

さて、今年は診療報酬の改定があります。昨年の介護報酬改定と同様、医療費の抑制に向けた方向性が明確に打ち出され、厳しい改定になることが予想されます。奈良県においては今年3月末までに地域医療構想（団塊の世代が後期高齢者となる2025年の医療需要を推計し、それにふさわしい医療提供体制を整えること。）が策定される大事な年になります。県は高度急性期医療、急性期医療、回復期医療、慢性期医療というそれぞれの医療機能の必要病床数を、奈良、東和、西和、中和、南和の第二次医療圏域毎に定め、医療機関はその医療圏域において、自らの医療機能を決めていかなければなりません。

新年ですので明るいニュースをひとつ、今年の4月に介護付有料老人ホームが新規オープンします。奈良東病院グループふれあいの里に、また新たな仲間が加わることになりました。名称は現在募集中ですが、オープンに向け最終の調整段階の真っ最中。皆さんの期待にお応えできるよう努力する所存です。

話は変わりますが、中国のお話に「桃花源記」というものがあります。有名な”桃源郷”的ルーツとなるこのお話は、道に迷った武陵の漁夫が桃林の奥に、秦の乱を避けた者の子孫が世の変遷の影響を受けずに平和に暮らしている仙境を見いだしたという話です。この物語に出てくる漁夫は、再びこのユートピアとも言える場所へ行こうとしても、もはや行く事ができなかったと言う話です。しかし、我々の「ふれあいの里」は夢物語ではなく何度も訪れる事ができ、いつでも笑顔でもてなす事ができる現実の場所です。中国のお話を引用しましたが、ふれあいの里が地域の皆様に喜ばれる桃源郷になってほしいと願いつつ、新年を迎え、今年も今まで以上に飛躍の年であるように職員一丸となって頑張っていく所存です。

昨年の漢字「安」を今年は「楽(たのしい)」になるよう皆さん！頑張っていきましょう!!

平成28年 元日

健和会理念

私達は、医療がサービス業であることを認識し、以下の目標を掲げる。

- 1・患者さん中心の医療・看護・介護
- 2・地域社会への貢献
- 3・研究心と向上心を持つ
- 4・和を尊ぶ

健和会基本方針

- 1・私たちふれあいの里的職員はいつも患者さんの意思を尊重し権利を遵守して、患者さん中心の医療、看護、介護を実践します。患者さんのADL（日常生活動作）改善とQOL（生活の質）向上のため、積極的にリハビリテーションに取り組みます。
- 2・私たちは、他の医療機関や地域の人々と連携して地域社会に貢献し、社会に開かれた施設を目指します。
- 3・私たちは患者さんから学ぶという初心を忘れず、より良い医療、看護、介護を提供できるように常に研鑽し探究する精神を持ち続けます。
- 4・私たちは力を合わせてチーム医療の遂行のために努力します。

RUN伴に参加しました

平成27年10月4日、RUN伴というイベントに参加させていただきました。RUN伴とは、NPO法人認知症フレンドシップクラブが主催する「RUNTOMO-RROW」の略で「認知症になんでも安心して暮らしていく町」を目指し、認知症の人や家族、支援者、一般の人が少しずつリレーをしながら一つのタスキをつなぎゴールを目指すイベントです。

このイベントは5年目で、今年は7月4日に北海道をスタートし、8000人の参加者がタスキをつなぎ、11月1日、福岡にゴールしました。

天理市では今回チームを作り、天理市の地域包括支援センターとグループホームふ



れあい天理、市役所、保健センター、地域密着型の事業所など、さまざまな職種、事業所の方とともに、共通のオレンジ色のTシャツを着てみんなで声をかけ合いながら、笑顔で楽しく天理市を走りました。

1つの共通した目標を持って走るのはとても有意義で、事業所や職種に関係なく共に地域の認知症の方を支えようという絆が生まれたように感じました。

次回は認知症の方や家族の方にも参加してもらい、地域住民を含めた地域全体で認知症の方や家族の方を支えられる「認知症でも安心して生活できる町、天理」へ向けての活動にしたいと思いました。

(天理市北部地域包括支援センター 永原 頂)

西2階病棟 大相撲大会 & 日替わりお風呂

平成27年11月28日、西2階病棟では職員による大相撲大会を行いました。

入場の際、お相撲さんに扮した職員4名が四股名の呼び声と共に入場し、土俵の前で化粧回しをしました。

一回戦は、女性職員2名がしっかりとまわしを付け、本物のお相撲さんに負けないような試合をしてくれました。患者様からは「がんばれ～」の



掛け声もありました。

二回戦は、男性職員2名で相撲を取りました。こちらも鬼気迫る戦いを見せてくださいました。観覧に来て下さった家族様や患者様から「楽し

(3ページに続く) ▶

せてもらいました」「凄くよかったです」とお褒めの言葉をいただきました。

11月の行事では他に、少しでも普段のお風呂を楽しんでもらおうと思い、入浴時に入浴剤や本物のゆずを入れてみました。患者様からは「いい香りや～」「気持ちいい」という声を聞く事が出来ました。

たくさんのご意見やお褒めの言葉をいただくことができ、患者様にも喜んでいただけたのではないかと思います。今回の行事が成功して、患者様だけではなく職員にとっても、良い経験となりました。

(奈良東病院 西2階病棟 胡桃澤 安裕)

第2回 二階堂高校インターンシップ

平成27年10月20日から30日にかけて、奈良県立二階堂高等学校の生徒による今年度第2回目のインターンシップによる職場体験が行われました。

春に行われた第1回目のインターンシップでは全員が介護の現場を体験しましたが、今回は生徒が希望した看護師やセラピスト(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)、栄養士、介護士、事務職など様々な医療・福祉の職種につき、約200名の生徒は貴重な体験ができたのではないかと思います。

団塊世代が75歳以上となる2025年問題が差し迫る中、介護の人材不足が予想されます。そんな中、第1回目に続き、この第2回目も介護士を選択してくれた生徒もたくさんいました。介護の現場を通じ、高齢者の方々とふれあうことの尊さを学んでくれたことを大変嬉しく思います。

まずは高校生活をしっかりと全うし、いつかこのふれあいの里に戻って来てくれることを期待しています。

(ふれあいの里 広報委員会)



第9回 ふれあいの里 秋の作品展が11月1日から開催されました



今年は、200点を超える作品の応募があり、どの作品も作られた方お一人お一人の想いが伝わってくるような素晴らしいものばかりでした。中には、1年間を通して取り組まれたものや、施設全体で協力された合作などもありました。

患者様・利用者様・ご家族の方からは、「いい作品ばかりで廊下を通るのがとても楽しい」「来年は出品してみたい」「作品から元気がもらえる」など、たくさんの嬉しいお言葉を頂きました。また、出品された方が見に来られ、喜んでおられる姿を通して、作品展の企画に携わる事ができ、大変嬉しく感じました。私自身、展示作品に見入ってしまい見に来られた家族様や利用者様とお話しさせて頂き、いつもより廊下を通るのが楽しくて仕方ありませんでした。

今後もこの作品展を継続し、皆様に喜んで頂ける秋の恒例行事にしていきたいと思っています。来年も皆様からの作品をお待ちしております。本当にありがとうございました。

(ふれあいの里 作品展実行委員会
奈良東病院 総務課 中畠 伸子)



デイサービスセンターいづみリニューアルオープン



デイサービスセンターいづみは、平成14年6月に開所し、平成18年には介護予防が始まったことを機に、パワーリハビリの機械を設置するための増築がありました。今回の増改築を伴うリニューアルオープンは5年後10年後のデイサービスの在り方を見据えてのものとなります。工期は平成27年5月から9月いっぱいまでの5ヶ月間に及ぶ、とても大がかりな増改築工事でした。そしていよいよ10月1日より新生デイサービスセンターいづみが動き始めました。

今回の増築工事は駐車場側に拡げ、お風呂の新築と機能訓練スペースの拡張と静養室等を新設する工事から始まりました。既存部分と増築部分とを鋼板で仕切り、サービスの提供を行なながら工事がスタートしました。

大きな工事音に悩まされ、狭くなってしまったスペースで利用者様も職員も動きにくくなってしまった状態に悩まされ、収納できなくなった物が煩雑に置かれている状態に悩まされ、どうしようも出来ない中、介護事故も起きず、利用者様も工事の騒音を理由に休まれたりするようなこともなく、利用者様一人ひとりに職員が丁寧に対応し、様々な悩みを何とか乗り切って、工事は順調に進んでいました。

リニューアルオープン後の新しいテストケースとしての取り組みが3つあります。

1つ目は直営の厨房による食事提供

2つ目は高濃度炭酸泉の機械の設置

3つ目は居住スペースの拡充と個別対応出来る部屋の新設です。

1つ目の食事に関しては、グループ内において直営の厨房で



食事提供を直接行っているデイサービスはありません。利用者様の目の前にオーブンになった厨房があり食欲を増進させるいい匂いがお昼前には施設全体に充満しています。職員はお腹が空いている時間帯なの

でもうたまりません。召しあがっていただく利用者様は皆さんお箸やスプーンの動きが早く、表情は楽しそうで、活気に溢れた食事時間になっています。

今までは食事に関しては、どちらかというと利用者様からの苦情じみた話が多かったのですが、直営の厨房による食事提供を始めてからはケアマネージャーの方から、「食べる楽しみが生まれた」、家族の方より、「以前より元気になった」等のありがたい声を伝えて頂くようになってきています。食べる楽しみは年齢を問わず大切であると改めて感じています。

2つ目の炭酸泉とは、二酸化炭素がお湯に溶け込んだものを言います。二酸化炭素を体内に取り込むことによって血管が自然に広がり血液の循環が一時的に良くなります。ドイツではその昔から「心臓の湯」として心臓病、高血圧の治療に用いられ、様々な疾患を持つ方々に効果が期待できる優れ物です。日本でも現在約300の医療、介護施設で炭酸泉による治療が行われています。実際に炭酸泉のお湯に足をつけて頂きその効果を体験して頂くと「身体の芯から暖かくなる」、「足の爪がきれいになった」、「マッサージに行かなくてもよくなった」との声が届いています。

3つ目は床面積が広くなつて、従来、画一的になりがちであったワンフロアでの集団的な行動が、間仕切りのある別の部屋を設けることにより個別に対応できるようになったことで、カラオケ、麻雀等を小集団で、時間の制限なく楽しみ、くつろいでいただける空間の提供が可能になりました。

この3つが融合し、より良いサービス提供のハード面が整いました。

このように新たに生まれ変わった今、既存のデイサービスとは一線を画したデイサービスのありようをさらに追求していきながら、3つの試みをうまく融合させて近隣地域で一番のサービスを提供できるように職員一同邁進していきます。

(デイサービスセンターいづみ センター長 大竹 昌平)



編集後記

新年あけましておめでとうございます。2016年を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。例年通りでいきますと、この場をお借りして非常に寒いといった内容のご挨拶をさせていただくところではあります。今年に関しましては全く趣が違います。12月に気温が20度を超える所があり、中には25度を超え、夏日を記録する所もありました。地球温暖化の片鱗が垣間見える暖冬といったところでしょうか。

ただ、暖冬とはいって常に暖かいわけではありません。特にこの奈良県は海が無いという土地柄、夏は暑く、冬は寒いという寒暖の差が非常に大きい地域です。季節間の寒暖の差だけでなく、朝夕の寒暖の差も大きくなるため、これから迎える冬本番の1月中旬から2月にかけては注意が必要です。インフルエンザやノロウイルスもこれからが本番です。暖かい日が続いたとしても手洗い、うがいをしっかりと行っていただき、予防に努めていただきますよう、よろしくお願ひいたします。

2016年が皆様にとってより良い1年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

(広報委員長 橋本 重之)

